学術フォーラムの概要について（事後報告）

- 1 名称：日本の戦略としての学術・科学技術における男女共同参画－「第4次男女共同参画基本計画」との関わりで－
- 2 日本学術会議以外の共同主催団体等：
 - ・後援：一般社団法人国立大学協会、一般社団法人公立大学協会、日本私立大学団体連合会
- 3 開催日時：平成27年12月20日（日） 13時00分～17時00分
- 4 開催場所：日本学術会議講堂
- 5 開催趣旨：

「第4次男女共同参画基本計画」（平成27年12月25日（金）閣議決定）を念頭に置き、同年8月6日（木）、学術会議・男女共同参画分科会は「提言科学者コミュニティにおける女性の参画を拡大する方策」を公表した。この提言をベースに、我が国の学術・科学技術における男女共同参画の戦略性を鮮明にしながら、「第4次基本計画」の今後を展望するため、様々な角度から意見交換、議論を行った。
- 6 参加人数：
 - 講演者等：15名
 - その他の参加者：40名
- 7 特記事項：
 - (1) 国際レベルにおける我が国の問題点を確認し、ジェンダーを意識した統計データやジェンダー科学の重要性を共有できたことが、今回の学術フォーラムの大きな成果であった。
 - (2) それを、2017年5月に日本初開催のGender Summit 10（主催：国立研究開発法人科学技術振興機構（JST））につなげ、ワークショップのひとつとして具体化することが、1月8日に立ちあがったSummit 役員会で決まった。
 - (3) 本フォーラム内容の『学術の動向』掲載を検討中である。